

全国スケートボード施設連絡協議会

令和7年度新規加入自治体 施設の概要

①宮城県多賀城市((仮称)中央公園スケートパーク／2025 年 11 月オープン予定)

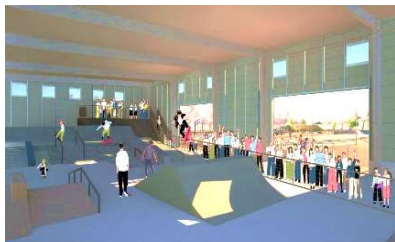
②秋田県にかほ市(竹嶋潟スケートパーク)

③福島県二本松市(スカイピアあだたらアクティブパーク)

④新潟県(AIRMAN スケートパーク)

●施設の概要

【宮城県多賀城市】

施設名	(仮称)中央公園スケートパーク			市章	
所在地	宮城県多賀城市浮島字矢中地内				
最寄駅	JR東北本線国府多賀城駅	設置年	2025年11月オープン予定		
管理方式	指定管理	管理者	TJP(6者で構成するコンソーシアム)		
ロケーション	屋内・屋外	駐車場	あり		
セクション	屋内スケートパーク:約 920㎡(セクション5基) 屋外スケートパーク:約3,600㎡(セクション10基、外周含む)				
使用可能用具	スケートボード				
料金	一般:600円(4時間)、800円(1日)、児童生徒:300円(4時間)、400円(1日)、 専用利用料あり				
利用時間	平日12:00～21:00、土日祝9:00～20:00				
休館日	12/28～1/4				
特徴	宮城県多賀城市の総合公園に公募設置管理制度(Park-PFI)で整備するスケートボード施設です。 屋内・屋外施設ともに常設セクションの他、可搬性セクションを採用し、利用者のニーズや大会の規模等に合わせて変化することができる自由度の高い施設として整備していきます。 体験会やスクール、市民大会等の開催による利用者拡大に向けた取り組みをはじめ、周辺には国宝「多賀城碑」や特別史跡「多賀城政庁跡」等の歴史遺産が数多くあることから、スケートボードとコラボレーションしたスポーツツーリズムも振興していきます。 また、同敷地内には3×3コート、遊具、飲食・物販施設等も整備し、幅広い年代の利用を想定した、賑わいの創出、地域経済の活性化等を狙いとして運営を行っていきます。				
ギャラリー	 【施設全体の整備イメージ】  【屋内スケートパーク】  【屋外スケートパーク】  宮城県多賀城市の位置				

●施設の概要

【秋田県にかほ市】

施設名	竹嶋潟スケートパーク			市章	
所在地	秋田県にかほ市飛字竹島潟29番地				
最寄駅	JR金浦駅	設置年	2023年		
管理方式	直営	管理者	にかほ市		
ロケーション	屋外	駐車場	あり		
セクション	コンクリート舗装面積1,560m2(施設全体面積1,742m2) ボウル・バンク、カーブボックス、ヒップバンク、複合セクション、初心者エリア、照明設備				
使用可能用具	スケートボード				
料金	無料				
利用時間	5:30~20:50				
休館日	なし				
特徴	早朝からスケートボードを楽しめるスケートパーク。屋外のため荒天時には利用できないが、出勤や通学前のほか、夜間照明完備により夜間もスケートボードを楽しむことができる。当施設は無人のため、利用登録や利用受付はQRコードから受付けサイトに入り、自身で登録や受付を行う。また、施設利用状況はyoutubeでライブ配信しており、いつでもどこでも確認が可能となっている。 そして、当施設は上級者から初心者まで楽しめるセクションやエリアを配置し、誰でも楽しめる施設となっているほか、周辺には、野球やサッカー、カヌーなどの屋外スポーツ施設に加え、体育館や屋内温水プール、人工芝の屋内スポーツ施設が徒歩圏内にあり、小さい子どもから高齢の方まで気軽にスポーツに触れる環境が整っている。 春には当施設に隣接する池沼周辺に咲き誇る満開の桜と鳥海山をのぞみ、多くの観光客やスポーツを楽しむ方々の交流が見られる。				
ギャラリー	 				

●施設の概要

【福島県二本松市】

施設名	スカイピアあだたらアクティブパーク			市章	
所在地	福島県二本松市上葉木坂2番地3				
最寄駅	JR二本松駅	設置年	2018年		
管理方式	指定管理	管理者	一般社団法人F-WORLD		
ロケーション	屋内	駐車場	あり		
セクション	スケートボード ストリートセッション（幅10.0m 高さ1.8m 長さ26.0m） パーチカルセッション（幅7.2m 高さ3.3m 長さ16.0m）				
使用可能用具	スケートボード、スポーツクライミング、スラッグライン				
料金	小中学生300円、高校生600円、大人900円 ※用具のレンタル料は別途				
利用時間	平日15:00～21:00、土日祝日11:00～19:00				
休館日	毎週水曜日、木曜日				
特徴	スケートボードのストリート・パーチカルセッション、スポーツクライミングのボルダリング・リード・スピードの各セクション、スラッグラインを体験することができる屋内スポーツ施設。設備の材質・材料に特にこだわって整備され、観光誘客施設としての役割も担う。 スケートボードについては、初級者からでも気軽に楽しめる観光コンテンツとして、JSAライセンス検定によるスケートボード体験のレッスンを行っており、また、クラブチームの運営・指導を通じた選手育成にも力をいれている。				

ギャラリー



●施設の概要

【新潟県】

施設名	AIRMANスケートパーク(えあまんすけーとぱーく)			県章	
所在地	新潟県新潟市中央区清五郎193-2				
最寄駅	JR新潟駅	設置年	2023		
管理方式	指定管理	管理者	新潟県		
ロケーション	屋内・屋外	駐車場	あり		
セクション	・ストリートエリア(バンク、ステア複合、バンクtoバンク、アール、ウェーブ、カーブボックス、マニュアルパッド、フラットレールなど) ・屋内エリア(クォーターランプ、アールtoアール、カーブボックス(2連結)、マニュアルパッド、パイプレール(丸・角)、キッカーなど)				
使用可能用具	スケートボード、インラインスケート				
料金	個人利用(大人600円、青少年200円)、専用利用、備品レンタル、附属設備使用料				
利用時間	平日13:00~12:00、土日祝日9:00~21:00				
休館日	12/29~1/3				
特徴	「気軽にスケートボードを体験・練習でき、アスリート育成のきっかけの場となる初心者~中級者向けのパーク」、「未経験者や愛好家から競技者を目指すスポーツ志向のスケーターまで皆が楽しめ、また来たいと思えるパーク」をコンセプトとした、新潟市内発のフルコンクリートと本格的なセクション構成が特徴の新潟県内最大級のスケートパーク。 スケーター目線で設計された3つのエリアがあり、街中の階段や傾斜を想定したセクションに挑戦できるストリートエリアのほか、独創的なデザインのボウルが魅力のパークエリア、雨や雪が降っても充実した練習が可能な屋内エリアがある。 どのエリアからも、新潟のランドマークである「デンカビッグスワンスタジアム」や「県立野球場(HARD OFF ECOスタジアム)」が一望でき、解放感のある空間でスケートボードを楽しむことができる。				
ギャラリー	  